

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平塚市黒部丘計画新築工事	階数	地上7F
建設地	神奈川県平塚市黒部丘319-13	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	1,275 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	学校集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2020年11月4日
敷地面積	15,499 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	6,379 m <sup>2</sup>	確認日	2020年11月5日
延床面積	35,103 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
地域環境や街並みとの調和を図り、省エネルギーや環境負荷の軽減を考慮しつつ、敷地内の防犯や利便性、室内の快適性に配慮した計画とした。		
<b>Q1 室内環境</b> 二重壁によりD <sub>r</sub> 値50を目標値として設定した。 F☆☆☆☆を床、壁、天井、天井裏の面積の合計70%以上の面積に採用した。	<b>Q2 サービス性能</b> 住居部分の天井高2.4m以上とした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物の配置、形態、植栽を地域環境や街並みとの調和に配慮した計画とした。
<b>LR1 エネルギー</b> 潜熱回収型給湯器エコジョーズ、複層ガラス、LED照明を採用した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 内装の更新性に配慮し二重天井を採用した。	<b>LR3 敷地外環境</b> ごみ置き場を敷地内に設けることで、敷地外への環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される